

# 地方創生カレッジ

## 「SDGsフィールドミュージアム奈良 スタートアップ会議」まとめと成果

### 1. 地域課題・テーマ

「はじまりの奈良」の持つ歴史文化資源に新たな視点で光をあて、途絶えることなく未来につないでいくため、多様な研究分野を持つ大学や研究機関の協働によるコンテンツの融合と新たな魅力づくり、市民協働による観光DXへの取り組み、多様な階層の人材育成による「持続可能な歴史観光都市・奈良」の観光まちづくりを行うための「新たなはじまり」として事業を展開する。

### 2. 現状と問題点

- 1 宿泊観光事業者のDXへの知見・関心が低く送客の主軸となっているOTAも活用しきれていない。
- 2 奈良県及び県域DMOは観光マーケティングにおける事業者との連携や指導が弱い。観光DXについても関心が低い。
- 3 地域住民は奈良の歴史文化資源が膨大で整理・消化しきれていないこともあり、自ら積極的に発信するに至っていない。

### 3. 目指すべき方向性・将来像と実現に向けた具体的施策

#### (1)将来像

- 1 それぞれの得意分野で国内有数の知見と研究者を擁する2つの大学と研究機関の教員・学生、研究者が交流・協働し奈良の持つ歴史文化コンテンツの磨き上げと内外へのわかりやすい発信に取り組んでいる。
- 2 観光宿泊事業者自らがDXに関心を持ち、デジタルマップと音声ガイドなどを組み合わせた観光DXマップの開発・提供などを通じて顧客動線、嗜好、観光消費額等の顧客データを分析・活用したマーケティングにも興味を持ち始め、活用している。
- 3 地域住民が今まで気づかなかった奈良の潜在的な観光価値・魅力を再認識して、市民協働型の積極的な情報発信が行われている。
- 4 有料・課金コンテンツに進化したデジタルマップが地域全体の観光消費額アップに徐々に貢献し始めている。

#### (2) 具体的施策

- ① 【Googleマイマップ講習会の定期的な実施】メタ観光の視点とスキル体得したユネスコクラブの学生たちが講師となって、宿泊施設スタッフや観光ガイド等を対象に年間5回×1回20名程度の講習会を定期的な実施する（協力:奈良市観光協会）
- ② 【学び旅ツアーのDX化への取り組み】来年度4,000人～8,000人の受け入れを目指す奈良SDGs学び旅の教科書やガイディングのDX化に着手する。
- ③ 【奈良公園デジタルガイドマップ】急激な復活が予想されるインバウンド向けに多言語音声ガイド等を組み込んだデジタルマップの開発を目指す。

#### (3)スケジュール

- ①については来年度夏～翌春までに実施したい。②、③については課題となる財源確保に向けて奈良県、奈良市の予算獲得、観光庁等の補助金の来年度採択を目指し、再来年度の試験運用にこぎつけたい。

# 地方創生カレッジ

## 「SDGsフィールドミュージアム奈良 スタートアップ会議」まとめと成果

### 4-1 今回のシンポジウムやワークショップを通じて得られた参加者の気づき

### シンポジウム

#### (1) シンポジウム 「パネルディスカッション」「メタ観光セミナー」

- ・奈良はその固有の歴史、文化財等の累積により「観光資源」という範疇の中に長年にわたる数多の研究者と関連する立場の方々の真摯な（あるいはユニークな）活動が深く結びついているまちであることが分かった。
- ・奈良の楽しみ方が多様化していると感じていましたので、各分野の専門家の生のお話を聞けたことは、とても貴重な体験になりました。話し方・見せ方・伝え方も各先生方、とても魅力的で刺激にさせていただきました。
- ・次世代を変える若者の育成(教育)のお話にも勇気を頂きました。現場で子供たちに、ミニESD講話を実践し本物を見せて五感を感じてもらおうようにしているので、実施してる事が間違っていないことに改めて気づきました。これからも続けていきます。(小学校教員)
- ・「奈良には素晴らしいものがたくさんあるのにPRが上手ではない」という趣旨の発言をされているのも度々耳にしてきました。この2つが結びつくことで生まれる可能性は、まさに「奈良をフィールドミュージアムに変えていく」ということそのものだと思う。
- ・まだまだアピールできていない奈良の魅力があることが分かったので、観光振興に活かせると思う。これからの観光は東大寺、奈良公園、鹿、法隆寺といった従来の観光だけではなく、それぞれが、それぞれの興味に応じてカスタマイズできる奈良の旅。
- ・パネルディスカッションが楽しかったので、先生たちのお話に即したそれぞれのレイヤーを作らないのならば本当に惜しいなあ、勿体無いなあ、と個人的には思ってしまいました。
- ・自分にとってまだ見だせていない価値のない場所でも、他の人にとっては価値のあるもの」という言葉が印象的だった！知らなかったたくさんの魅力があって奈良もっと好きになれる！

★新たに観光資源を作らなくても、大学や研究機関の日々の活動や研究の中に、今まで見えていなかった奈良の価値・魅力がある。

★旅行者ニーズが多様化した時代に、既存の観光資源の多様な価値を可視化しつなぐことが重要。

★自分たちの地域のことをあらゆる価値から見直すことにより、シビックプライドが生まれる。

# 地方創生カレッジ

## 「SDGsフィールドミュージアム奈良 スタートアップ会議」まとめと成果

### 4-2 今回のシンポジウムやワークショップを通じて得られた参加者の気づき

### ワークショップ

#### (2) ワークショップ

- ・学校の授業で、教材などをテーマに応じて示したり、子どもたちが地域学習する際に作成してもらうことができそう。
- ・教員になるために、日々教育大で学んでおりますが、このツールは学校現場でも活用できるのではないかと考えました。
- ・道頓堀でやってみたい⇒商店街マップなどへの活用
- ・業務改善コンサルタント、エンジニアとして地方創生の一翼を担いたい。そのひとつの大切なツールと認識しています。
- ・仕事が情報発信なので、上手に取り込んでいきたい
- ・価値観の多様化が進んでいると言われ、万人が面白いと思う観光地は少なくなっていくと思います。その中においても、観光を盛り上げるための手段として有効な方法だと思いました。
- ・地図上に様々な分野の観光情報を表示することで、多くの情報を一度に知ることができ自分が興味を持ったことがない分野のコンテンツでも、メタ観光を通じて親しめる。たくさんの可能性を秘めている観光の形だと思いました。
- ・平素からスマホで撮影した写真や動画をプレゼンに使用していますので、更にスマホの活用を工夫したい
- ・自分独自の視点で位置情報を発信するトレーニングを積んでいきたい。

★自分の学びや仕事に活かせると考える参加者が多く、理論+実践スキル習得で構成したワークショップが効果的だった。

★世代間だけでなく価値観の多様化は進んでいるが、興味外の情報でも知りたい・受け入れる柔軟さを持つ参加者が多かった。

★多様な階層が市民協働で作成するデジタルマップ=「our map」と特定のテーマを深める「my map」(課金モデル)の2方向で来年度もワークショップ等の活動を継続的に展開し、地域人材の育成と自治体・社寺等へのアプローチを積み上げていく。

# 地方創生カレッジ

## 「SDGsフィールドミュージアム奈良 スタートアップ会議」まとめと成果

### 5. 成果スキーム図

